

「お彼岸」

お彼岸^{ひがん}というと、自然なかたちで私たちの生活の中に溶け込み、春と秋にお寺などに行きお参りするということに疑問を感じることもないと思います。

もともとお彼岸とは、一年の中で過ごしやすい気候である春と秋の春分・秋分の日を中日として、その前後三日間、仏道修行に励む期間を意味するものでした。修行において私たちがいるこの世界は迷いの世界である「此岸^{しがん}」と言い、その此岸を離れ、仏さまがいらっしゃるさとの世界である「彼岸」に渡ることが願われています。

厳しい修行を積むことによって彼岸に渡ろうとするのですが、私たちは自らの持つ煩惱に遮られて、彼岸に至ることができな

い。そんな悩める私たちを救って彼岸に導いてくださるのが、阿弥陀さまの願いのはたらきなのです。お彼岸になると、お墓参りやお寺で勤まる彼岸会に「ご先祖さまを供養する」といった意識でお参りされる方が多いかと思いますが、供養するだけではなくご先祖さまを縁として改めて教えを聞き、お念仏する機会をいただくことが大切です。

ですからお彼岸とは、阿弥陀さまの願いを知り「南無阿弥陀仏」とお念仏^{いそ}に勤しむ期間と言えるのではないのでしょうか。亡き人を偲びつつ、心静かにお念仏を称え、改めて真宗の教えに出遇う心持ちでお彼岸をお迎えいただければと思います。

東別院リーフレット

ご自由にお持ちください

「お彼岸」

— 彼岸と此岸とお念仏 —



真宗大谷派名古屋別院（東別院）

〒460-0016

名古屋市中区橘二丁目 8 番 55 号

TEL (052) 321-9201 (代)

FAX (052) 321-3184

「お東ネット」 <http://www.ohigashi.net/>

Facebook 真宗大谷派名古屋別院・東別院

